

## 5 - 6 東海・南関東地域の地震活動（1996年11月～1997年4月） Seismic activity in the Tokai and Southern Kanto Districts (November, 1996-April, 1996)

気象庁地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

第1図は1996年11月～1997年4月の東海・南関東における月別震央分布，第2図は1996年11月～1997年1月と1997年2月～4月の3か月毎の震央分布である。

10月5日に発生した静岡県中部の余震活動がぼつぼつと続いている。10月15日から活発になった伊豆半島東方沖の地震活動は穏やかになり，11月末には，ほぼ落ちついたが，3月3日から群発地震活動が始まり，3月4日にはM5.7の地震が発生した（本巻別項の伊豆半島およびその周辺の地震活動を参照）。また，神津島周辺の地震活動が低下傾向にある。駿河湾の石花海堆付近の地震活動はやや停滞気味であったが，12月末から1月中旬にかけて，活動が活発になった。3月16日には愛知県東部においてM5.8の地震が発生した（本巻別項の1997年3月26日愛知県東部の地震を参照）。

各月の活動状況は次の通り。

1996年11月：新島・神津島周辺で2日にM4.5の地震が発生している。また，20日に太平洋プレートとフィリピン海プレートと北米プレートの3重会合点の西側でM6.0の地震が発生した。ここは，房総半島沖の静穏化の指摘されている領域の南東端に位置する。

12月：11月20日に房総半島南東沖で発生したM6.0の地震の余震活動が続いている。8日には10月5日の静岡県中部の地震のM3.1の余震が発生している。伊豆半島東方沖の城ヶ崎沖でM3クラスの地震が頻発し，17日にはM3.8の地震が発生した。また，山梨県南西部で17日にM3.0の地震が発生した。21日には茨城県の南西部でM5.4の地震が発生している。26日と27日に，M3.7とM3.2の地震が石廊崎 - 焼津を結ぶゾーンの北西延長上で発生した。29日には駿河湾石花海堆付近でM3.7とM3.3の地震が発生した。30日にはZ領域の南西端付近でM2クラスの地震であるがぼつぼつと発生している。

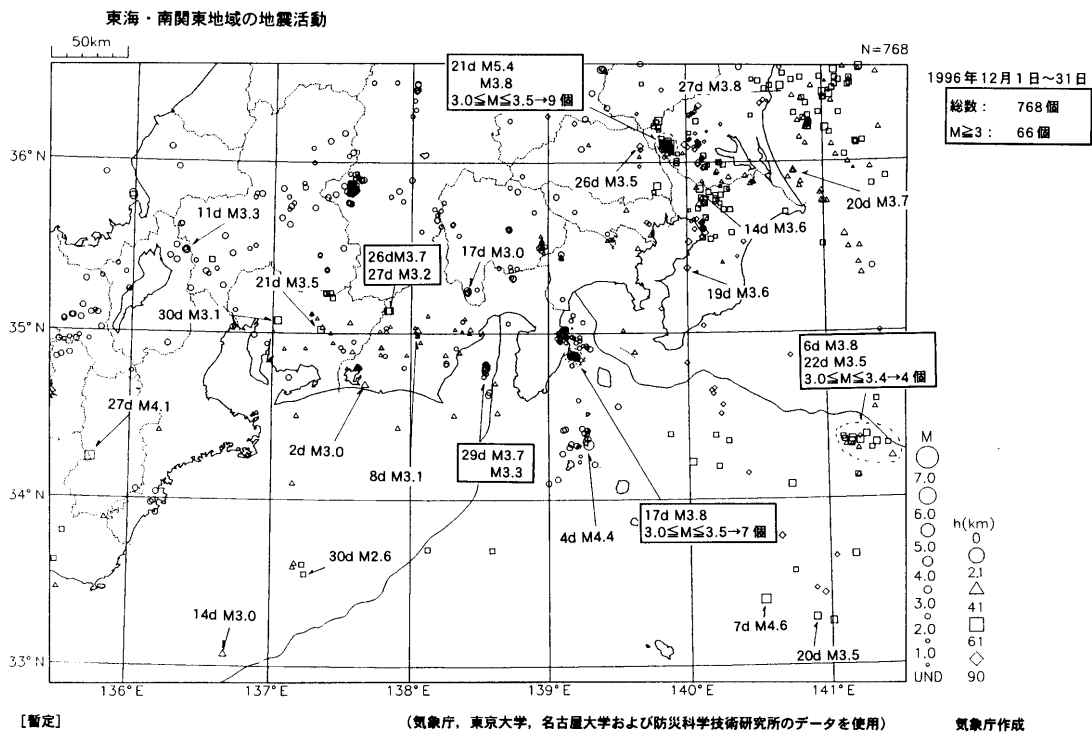
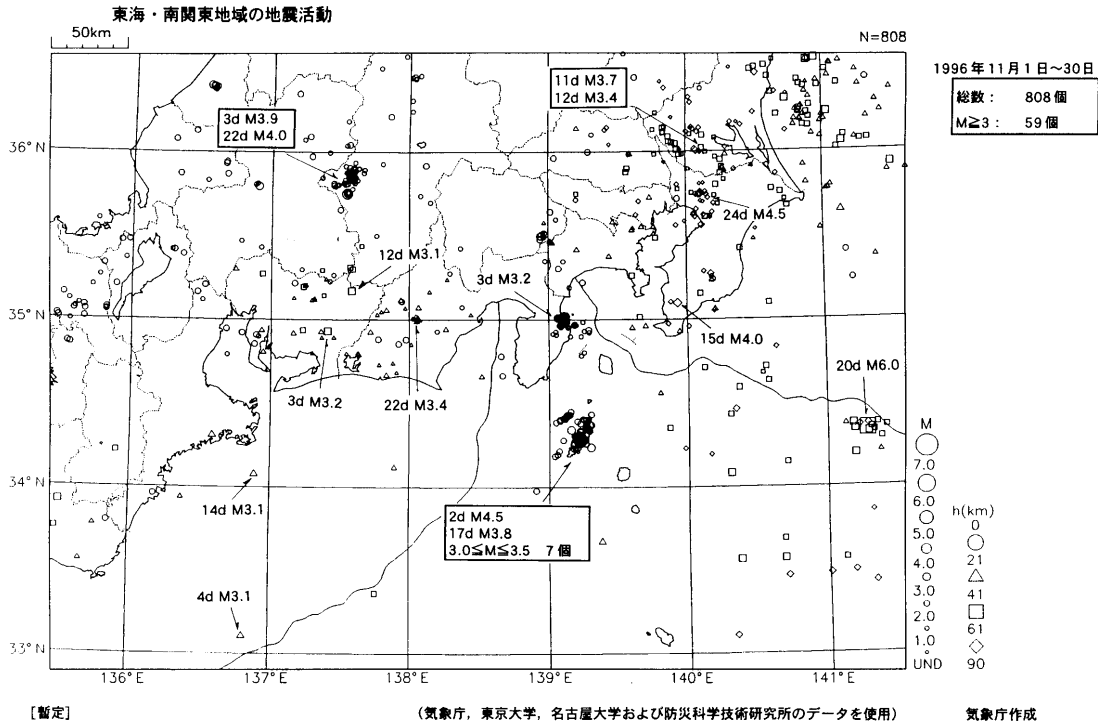
1997年1月：2日に石廊崎 - 焼津を結ぶゾーンの北西延長上でM3.4の地震が発生している。8日から石花海堆付近でM2クラスの地震が発生していたが，19日にはM3.3の地震が発生した。19日から26日にかけて利島付近で地震が頻発し，20日にはM3.9の地震が発生している。愛知県周辺でM3クラスの地震が散発している。

2月：8日に伊豆半島東方沖の活動域の北縁でM3.5の地震が発生している。11日に神津島の南西沖の銭州海嶺付近でM4.3の地震が発生している。1993年にもこの付近でM4.9の地震が発生している。17日と19日には東京湾の北東部沿岸付近でM4.4とM4.2の地震が発生している。

3月：3日から伊豆半島東方沖で地震活動が活発になり，3日にはM5.0，4日にはM5.7，7日にはM4.9の地震が発生した。16日に愛知県東部でM5.8とM4.3の地震があった。また，23日には茨城県南部でM5.0の地震があった。

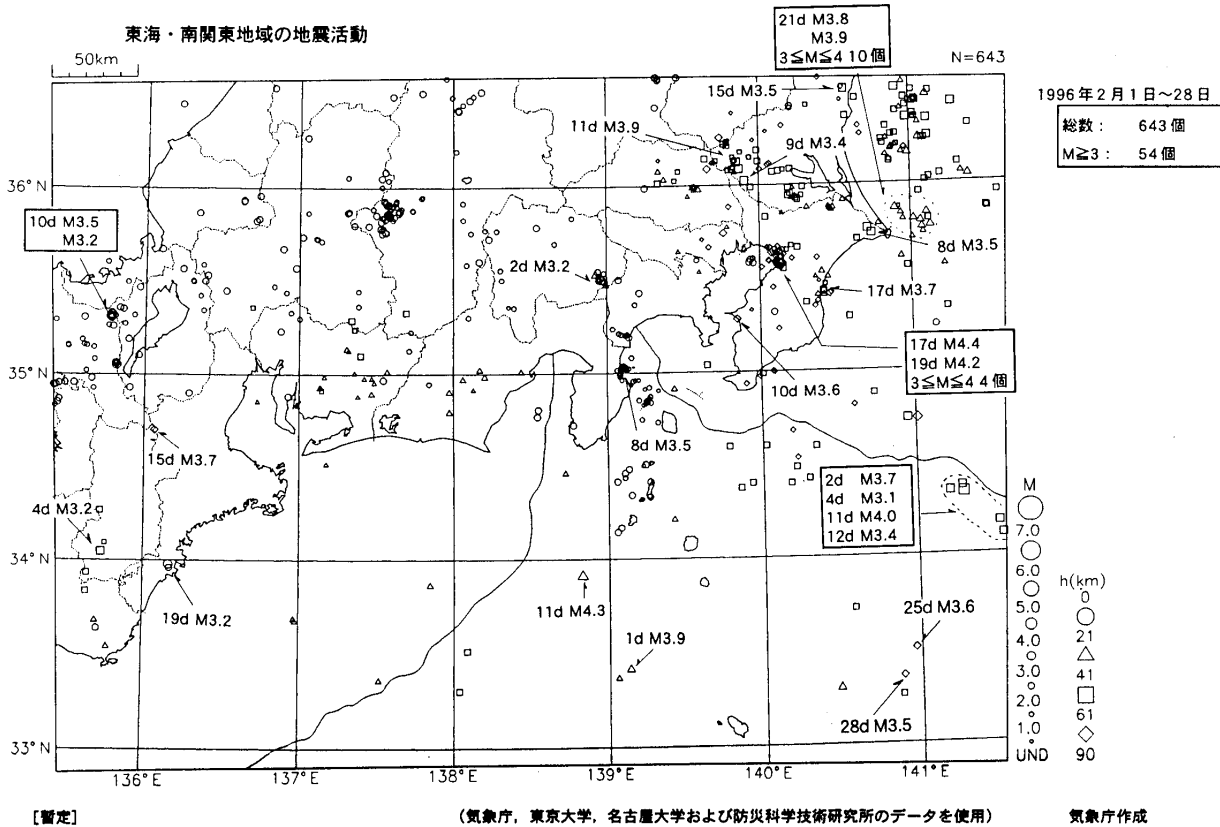
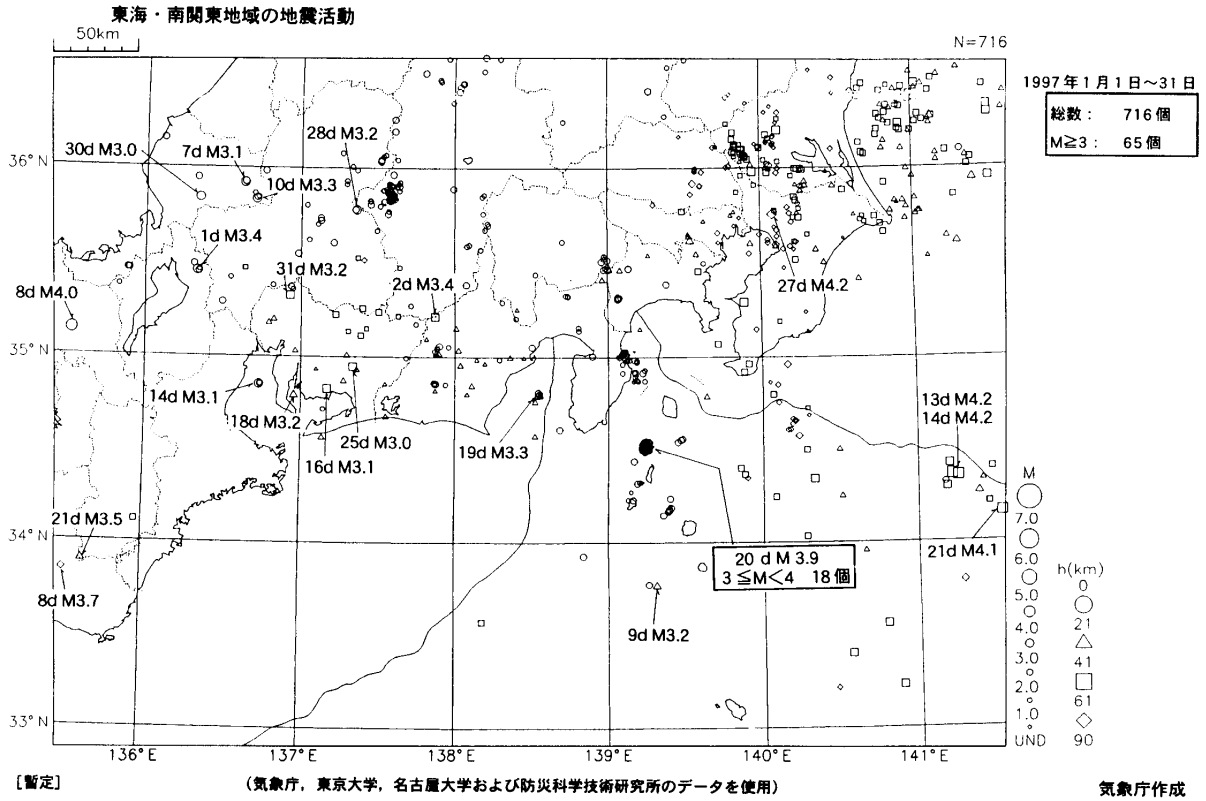
4月：3月16日愛知県東部の地震の余震がぼつぼつと発生しており、3日にはM3.5の地震が発生した。東京湾の北部で5日にM3クラスの地震が集中して発生した。

第3図は1996年11月～1997年1月、1997年2月～4月の主な地震の発震機構解を示している。10月5日に発生した静岡県中部の地震の余震は、北西-南東引長の正断層型の地震である。その隣接地域では、2月28日に北西-南東圧縮の逆断層型の地震が発生している。11月20日と12月8日の地震はどちらも太平洋プレート内の地震と考えられるが押し引き分布が逆という特徴がある。12月21日の茨城県の南西部に発生したM5.4の地震は北西-南東圧縮の逆断層型をしており、フィリピン海プレート上面で発生する地震と考えられる。一方、3月23日の茨城県南部の地震は東西方向に圧縮軸を持つ逆断層型で、太平洋プレート上面で発生する地震である。長野県南部の2月22日と3月22日の地震はT軸が北西-南東あるいは東西方向を示し、この周辺で発生した12月28日の地震と同じ傾向がある（本巻の別項東海の地震活動を参照）。3月16日の愛知県東部の地震は北東-南西にT軸を持つ正断層であった。



第1図 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1996年11月~1997年4月)

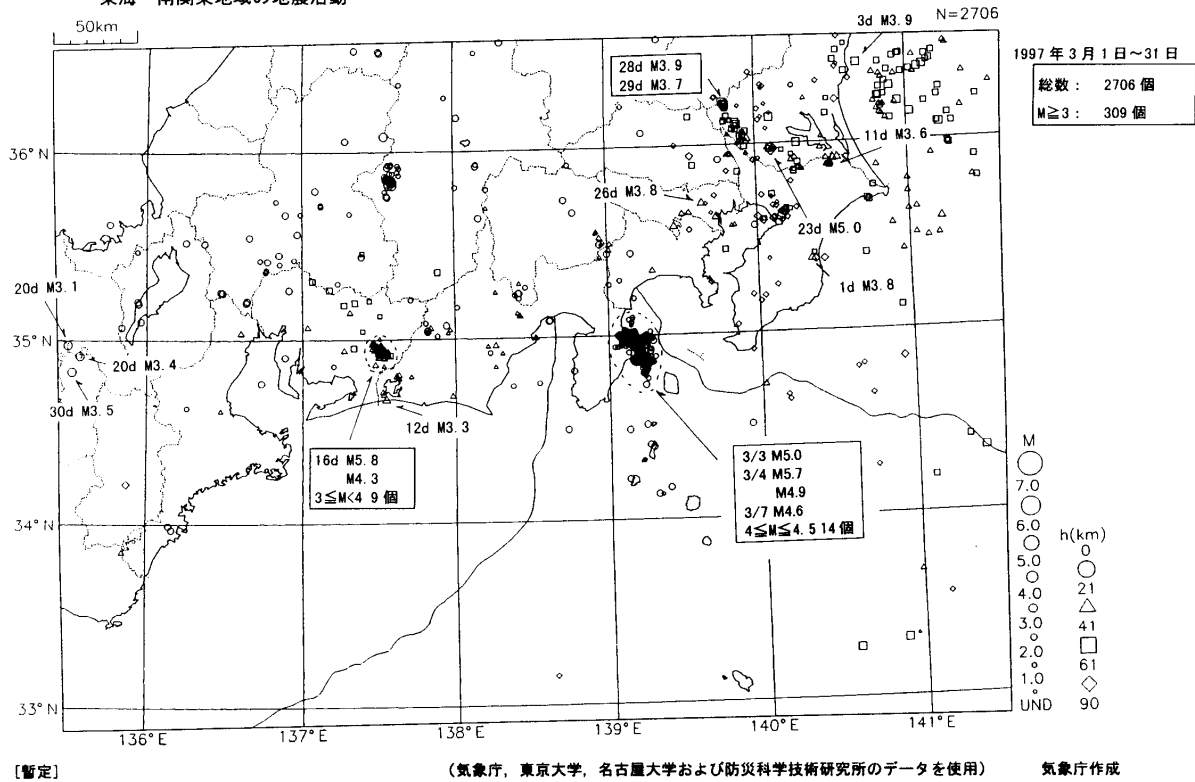
Fig. 1 Monthly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (November, 1996-April, 1997).



第1図 つづき

Fig. 1 (continued)

東海・南関東地域の地震活動

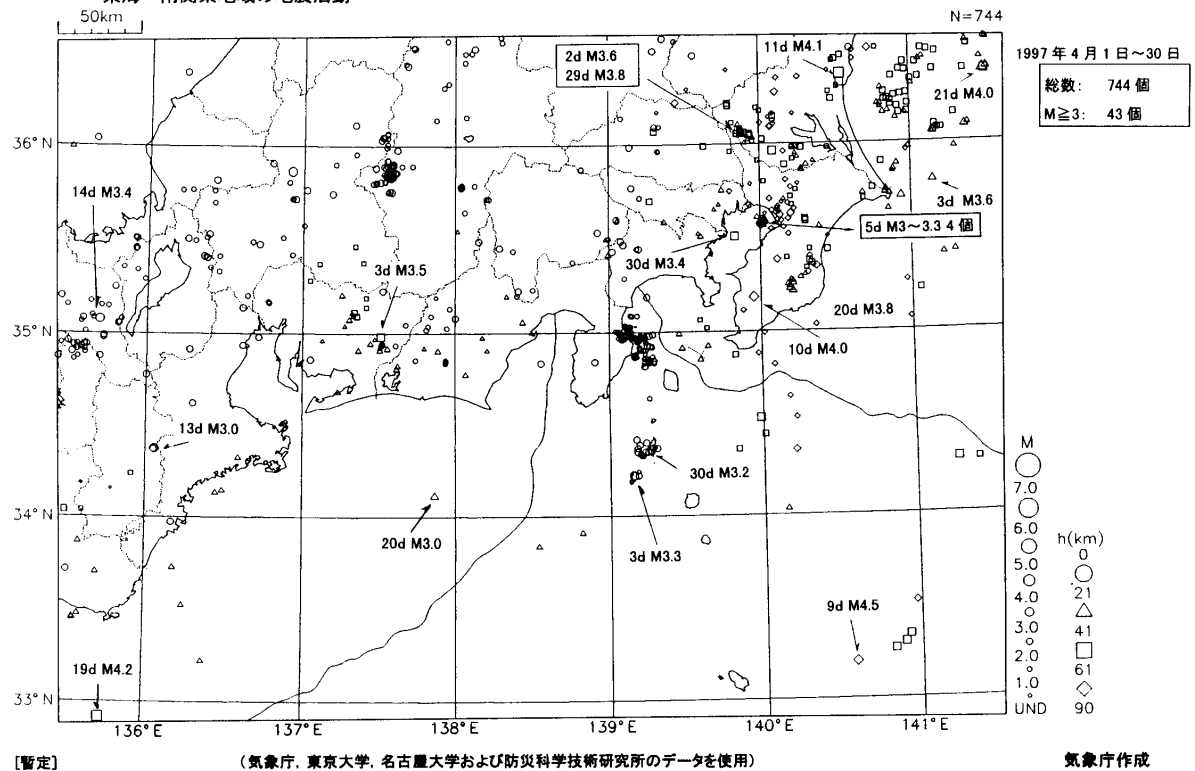


[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用)

気象庁作成

東海・南関東地域の地震活動



[暫定]

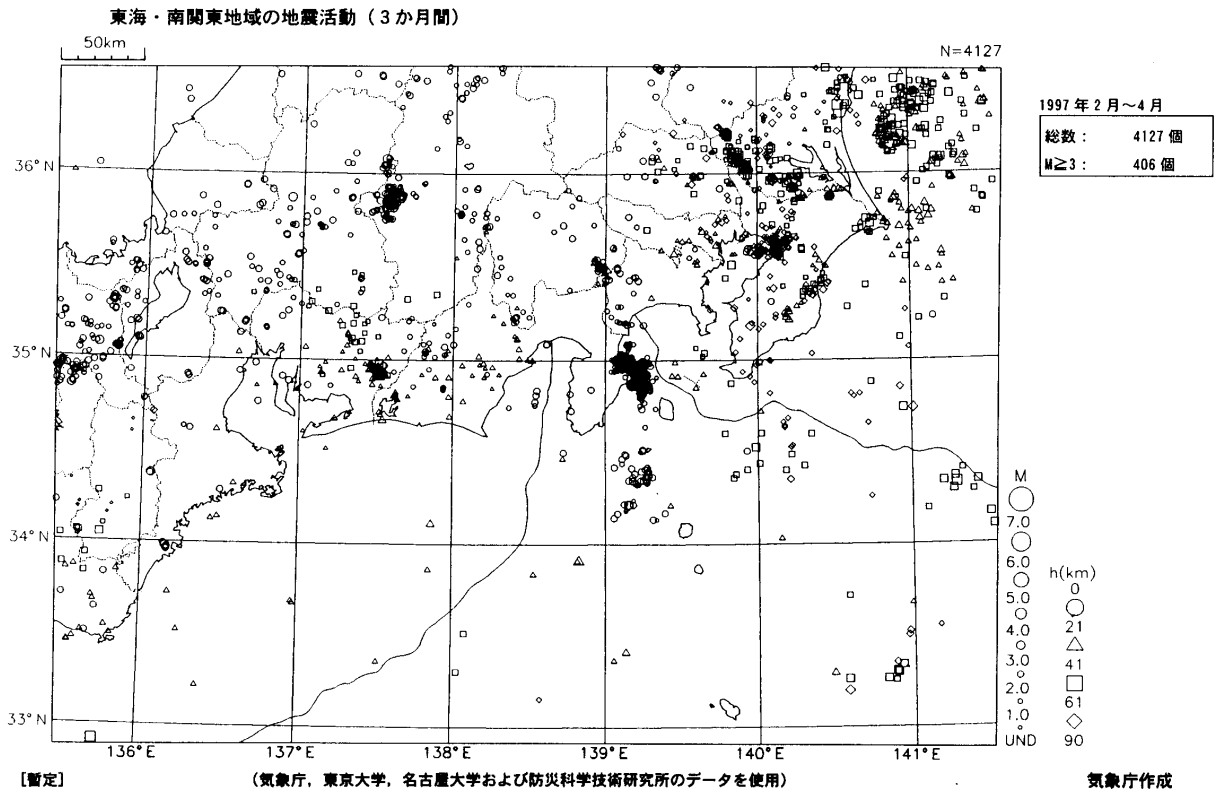
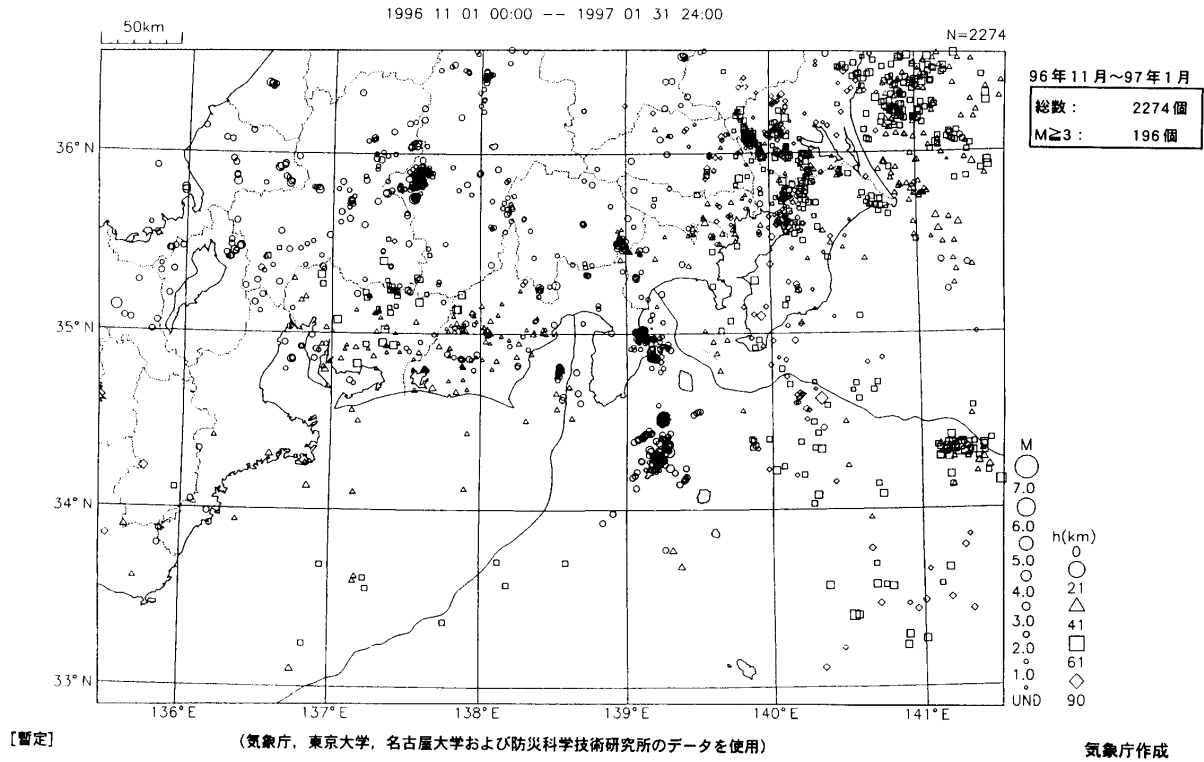
(気象庁, 東京大学, 名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用)

気象庁作成

第1図 つづき

Fig. 1 continued.

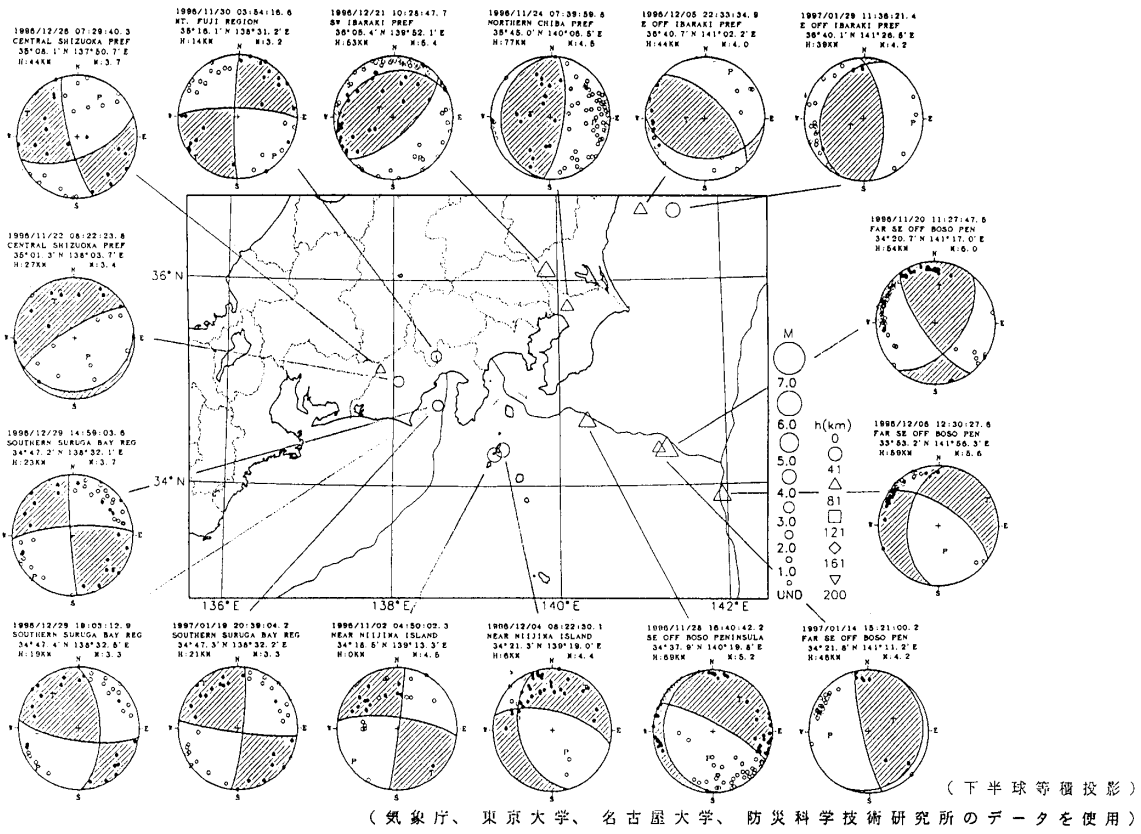
東海・南関東地域の地震活動（3か月間）



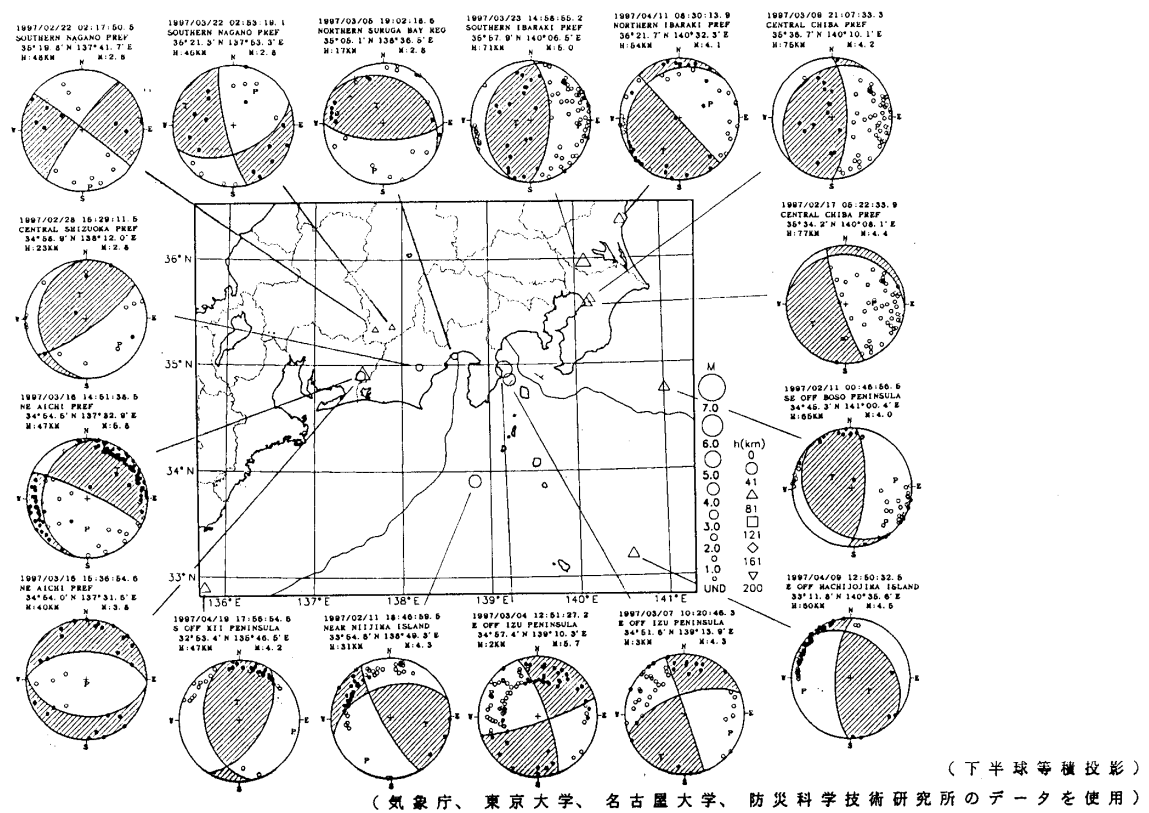
第2図 東海・南関東地域に発生した3か月毎の震央分布（1996年11月～1997年4月）

Fig.2 Quarterly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (November, 1996-April, 1997).

発震機構解 [暫定] (1996.11.1 ~ 1997.1.31)



発震機構解 [暫定] (1997.02.01 ~ 1997.04.30)



第3図 東海・南関東地域に発生した主な地震の発震機構解 (1996年11月~1997年4月)

Fig.3 Focal mechanism solutions of main earthquakes in the Tokai and Southern Kanto Districts (November, 1996- April, 1997).